

**フィラリア症予防の前に  
成虫の有無を  
確認する検査をして  
あげましょう。**



予防の効果を確認するためにも大切な毎年の検査です。

# ELISA法によって成虫と幼虫を調べる検査 フィラリア(犬糸状虫)抗原検査

なぜ予防の前に検査をするのですか？

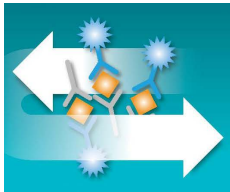
- 万一、薬の飲み忘れなどでフィラリアがすでに成虫に成長していた場合、慢性的に内臓に負担をかけ、時に重篤な症状を招きます。  
抗原検査により成虫の有無を調べることで、昨年飲んだお薬がしっかり効いているかどうかを確認できます。
- また、検査を行わず幼虫(ミクロフィラリア)が血中に大量にいる状態でお薬を投与すると、まれにショック症状が起きることがあり大変危険です。幼虫はフィラリア成虫から生まれるため、まずは成虫がいないことを抗原検査によって確認することが大切です。



血中のフィラリア幼虫(ミクロフィラリア)  
イメージ図

## どんな検査ですか？

- ELISA法を用いたフィラリア抗原検査は、数滴の血液から血中に含まれるフィラリア成虫に特有の抗原を検出します。微量の血液ですが高い検査精度で感染の有無を確認できます。
- 抗原抗体反応のゴールドスタンダードとされるELISA法は、専門の検査会社で用いられている検査方法で、検体の洗浄によりフリーの抗体等を洗い流して精度を高める検査方法です。



## どんな病気ですか？

心臓に寄生虫が住みつくフィラリア症は、  
ワンちゃんにとって非常に恐ろしい病気です。

蚊が媒介するフィラリア症の発生率は  
低下しているものの依然発生は認められています。

感染・発症してから慌てるのではなく、  
定期的な検査・予防薬で大切な  
ご家族をフィラリア症から守りましょう。

